

## LF228 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 61kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

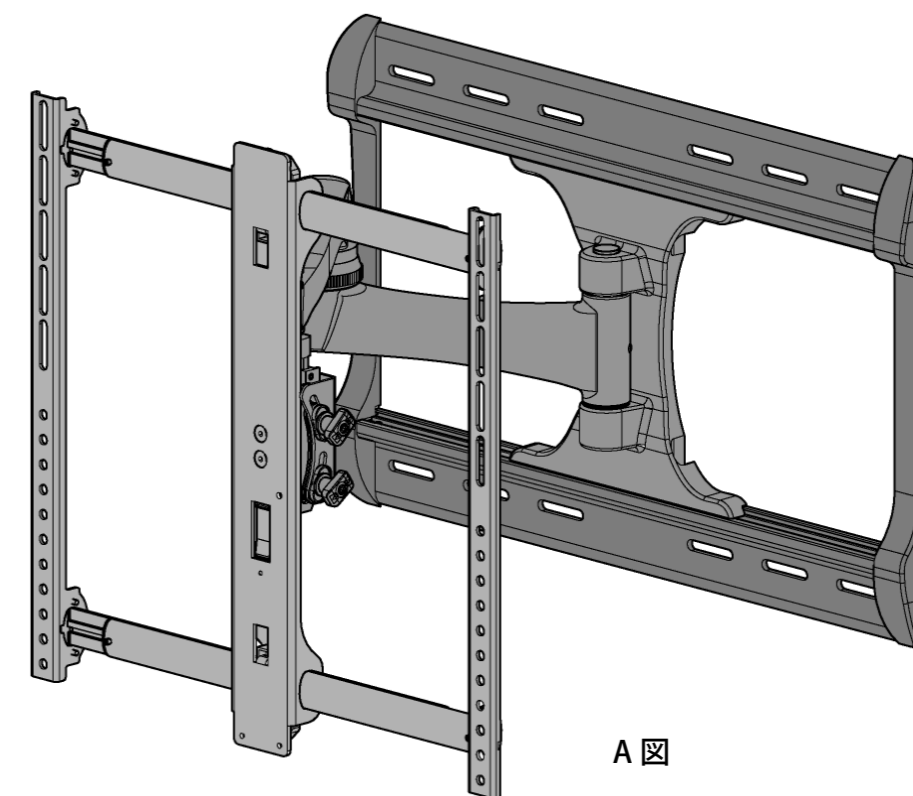
この度は、LF228の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
LF228は37V型～65V型の薄型テレビの取付用です。  
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは大切に保存してください。

### お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。


### 販売店様・工事業者様へ


フラットテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。  
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。




# 1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。  
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)


## 警告


 **禁止**  
壁の強度は少なくとも薄型テレビと LF228 の合計重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。  
LF228 壁掛け金具は、37V 型～ 65 型で、総重量 61kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。  
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。  
又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。  
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。


 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。  
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。


 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。  
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。


 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。  
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。


 湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。  
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。  
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。


 **禁止**  
組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。  
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。  
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。


 テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。  
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

 **禁止**  
本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。  
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。

 取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

 組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。  
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社ご連絡して下さい。  
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

 壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

 ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

# Memo

Blank memo area with horizontal lines for writing.



### 7-1 テレビの取り外し方

10 ページの手順4の図を参照して下さい。

1. ロックネジ [22] を取り外します。
2. 10 ページに表示したロックタブ (L) をしばらく押し続けてロックを解除します。
3. テレビを注意深くアーム [03] から持ち上げて、取り外します。  
この作業は重量物を取り扱うので、大人二人でテレビを取り外して下さい。

### 7-2 トラブルシューティング

★ テレビが下向き視野角を保つことはできず、上向きに浮いた状態になります：

1. 視野角 (TILT) の張力を再調節します (手順 5-4 を参照)。
2. 問題が解決しない場合は、より長いスペーサーを使用するブラケットの取り付け方法を利用してください。(手順 1-4 を参照)。

★ テレビがホーム位置を保つことはできず、下向きに浮いた状態になります：

1. 視野角 (TILT) の張力を再調節します (手順 5-4 を参照)。
2. 問題が解決しない場合は、より短いスペーサーを使用するブラケット取り付け方法を利用してください (手順 1-4 を参照)。

**重要** 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は大切に、保管して下さい。

### 仕様

耐荷重	：	61kg (テレビと付属品を含みます)	超過しないようにして下さい。
適応テレビサイズ	：	37V 型～65V 型	
ティルト調整	：	+5° -15°	
左右首振り角度	：	±75°	
水平度調整	：	±5°	

注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

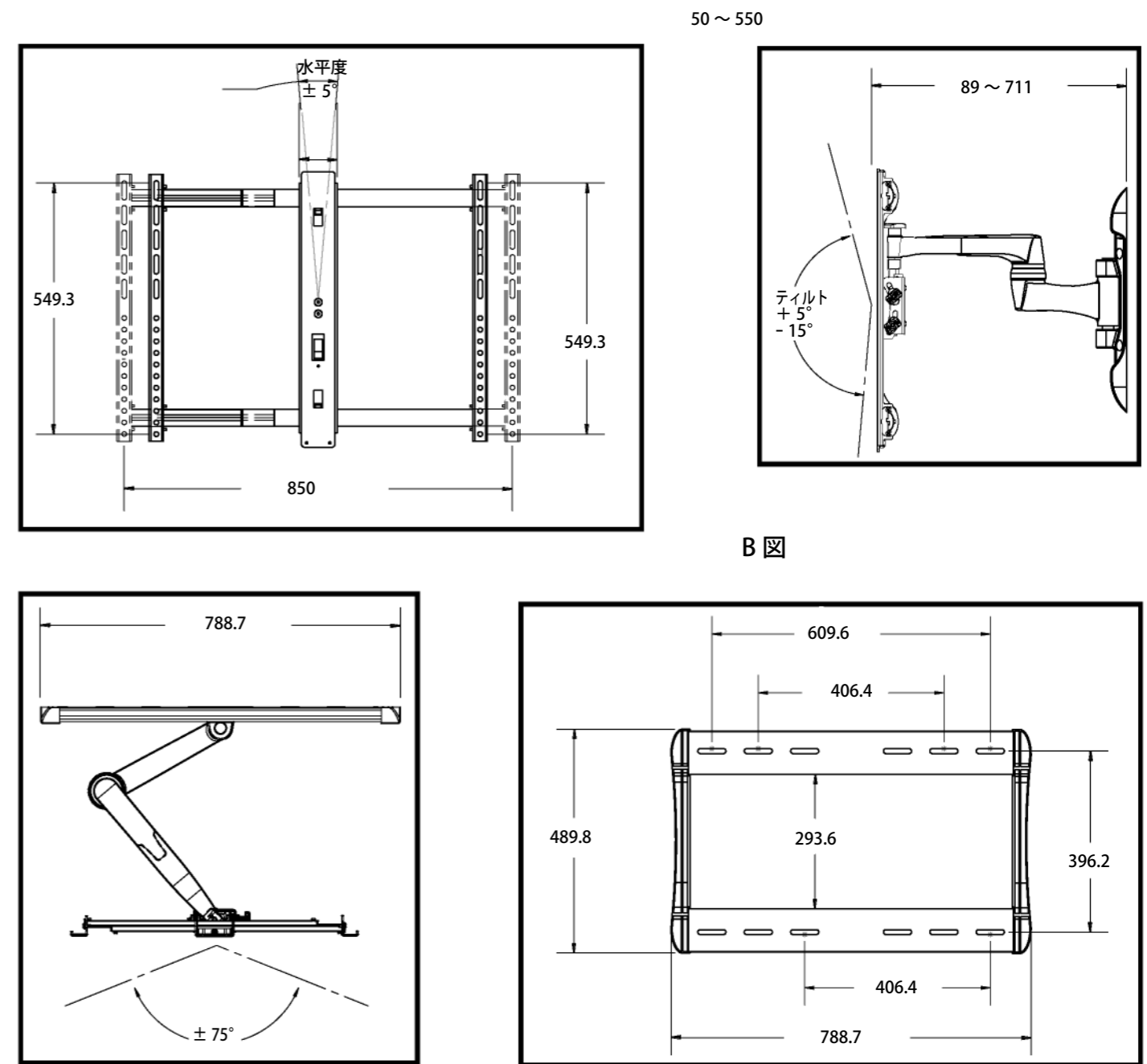
★ メーカーが指定している以外の目的で本製品を使用しないでください。

★ 取り付け先の壁は、テレビと壁面取付金具の総重量の5倍をの重量を支える強度がなければなりません。

★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。

★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立て、使用について質問がある場合は、ネットワークジャパン株式会社に、又は認定業者にお問い合わせください。

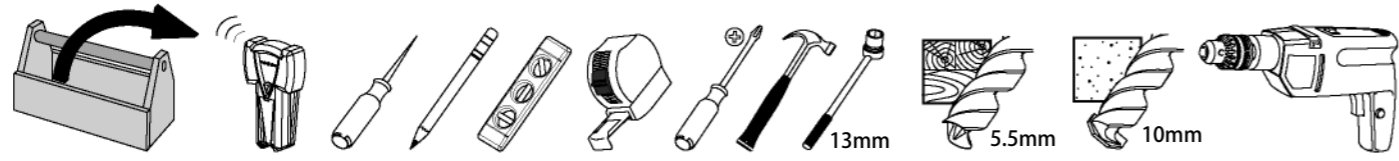
### 外観図



B 図

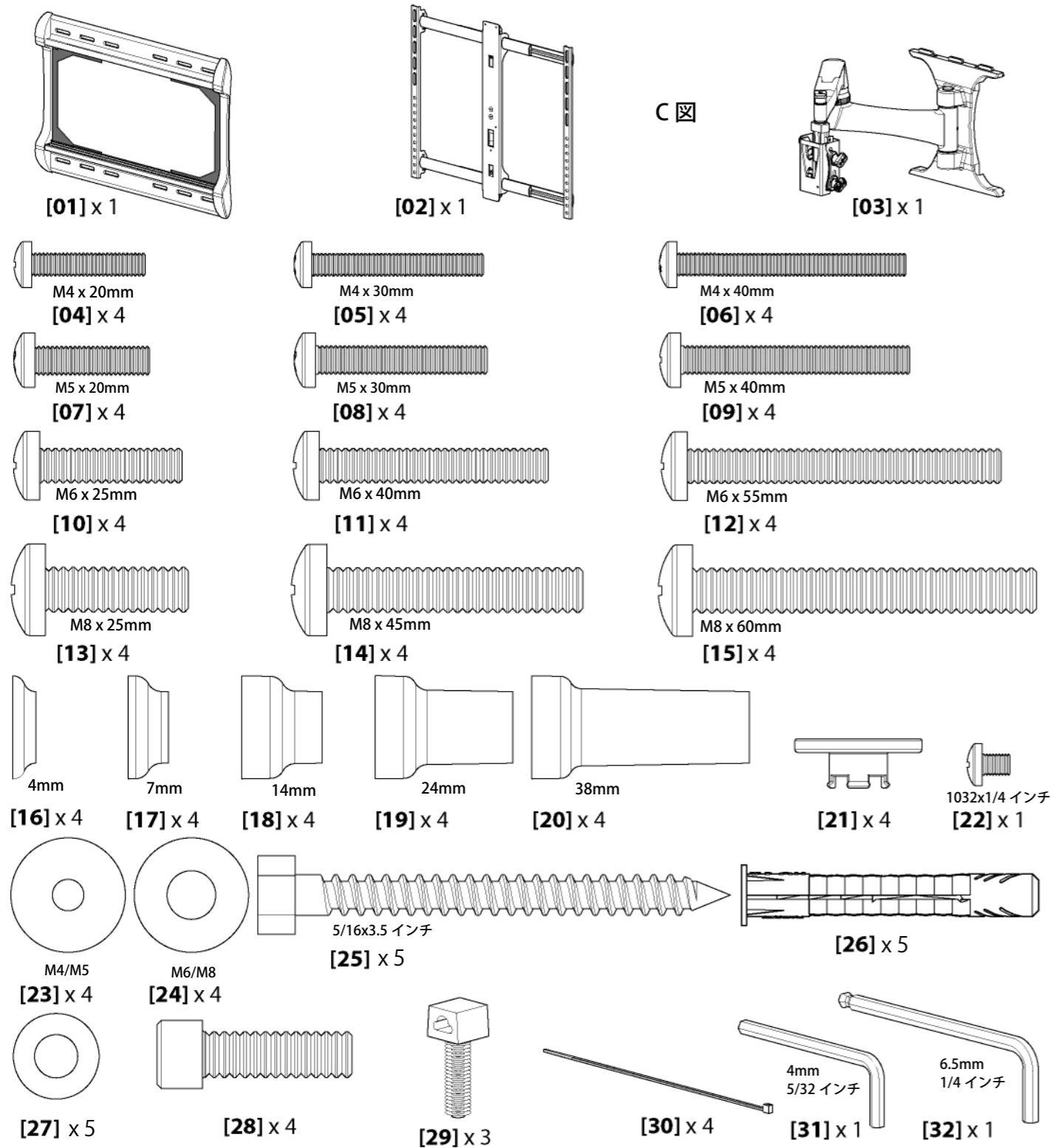
(3)

必要な工具類



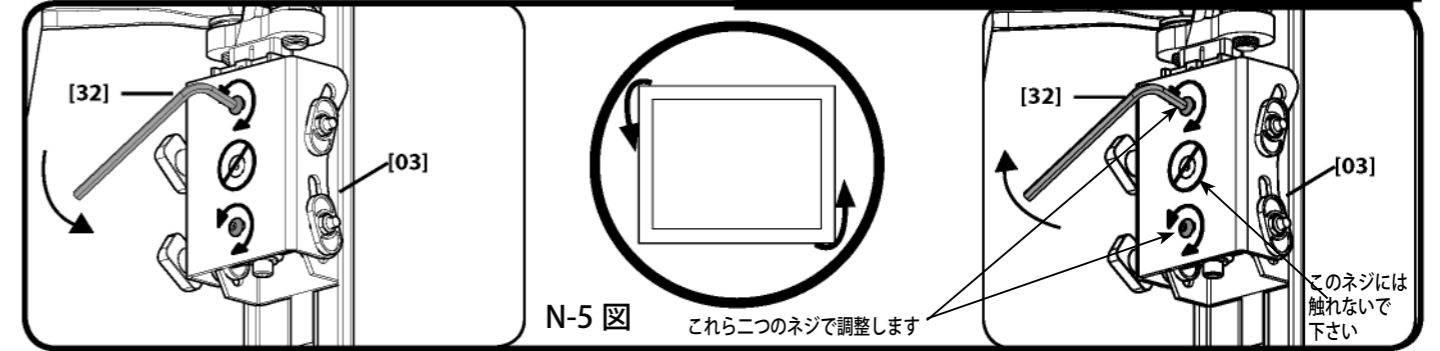
付属の部品類

**警告**：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。  
 注記：M4、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X #mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の金具をすべて使用するわけではありません。



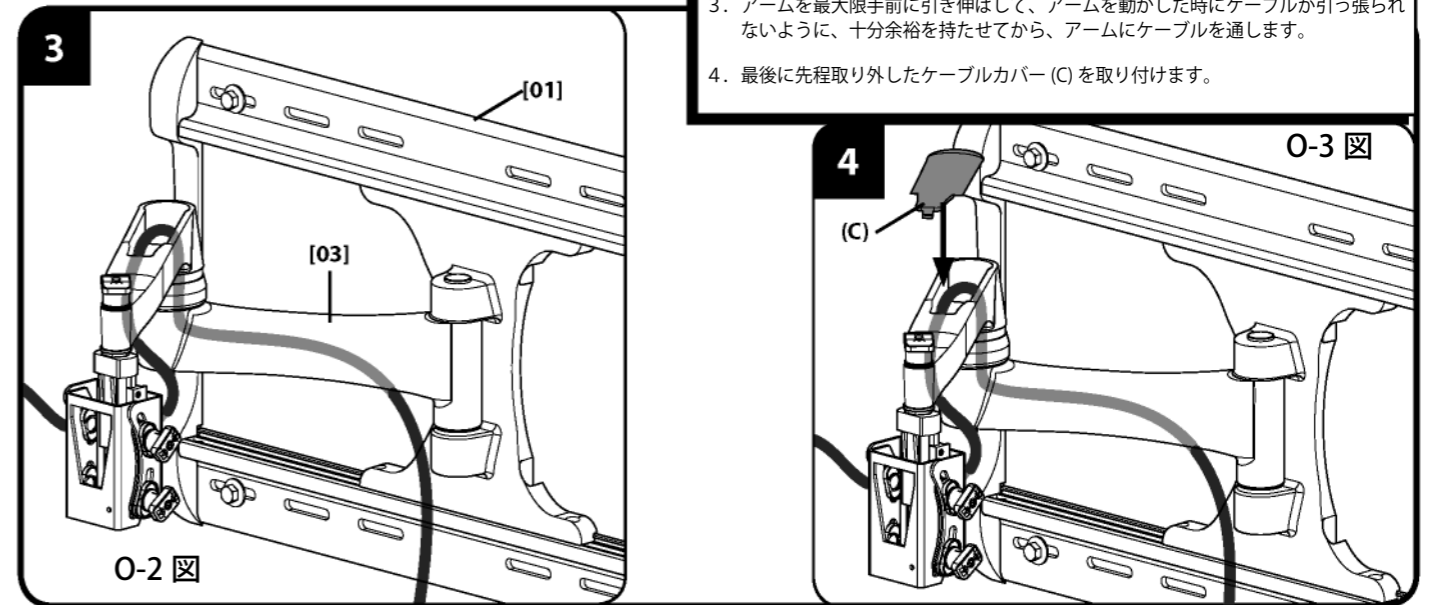
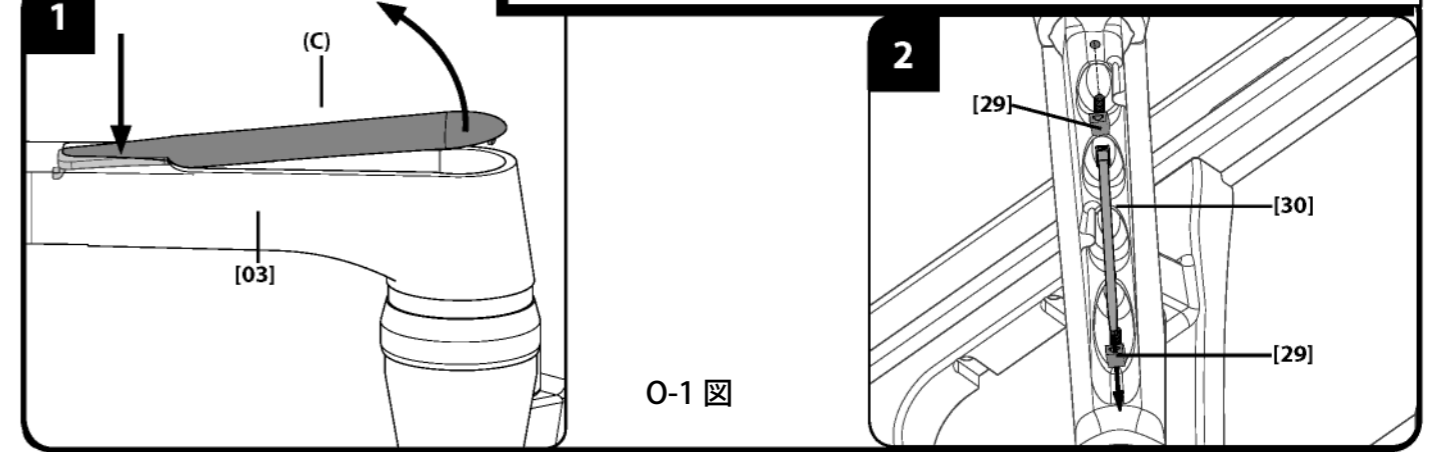
5-7 水平度の調整

テレビの水平度は、図のように六角レンチ [32] で一旦ネジを緩めて水平度を調整し、完了後元通りにネジを締め付けます。



6 ケーブル類の整理

1. アーム [03] を完全に伸ばします。ケーブルカバー (C) の前部を押し当ててカバーを取り外します。
2. 図のようにケーブルタイクリップ [29] とタイ [30] をアーム下部に取り付けます

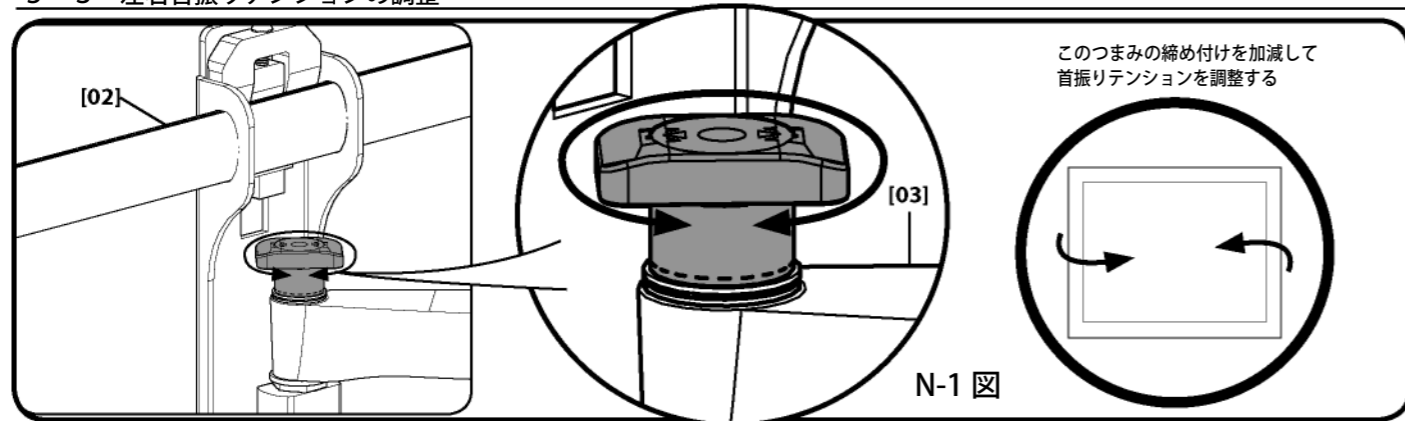


3. アームを最大限手前に引き伸ばして、アームを動かした時にケーブルが引っ張られないように、十分余裕を持たせてから、アームにケーブルを通します。
4. 最後に先程取り外したケーブルカバー (C) を取り付けます。

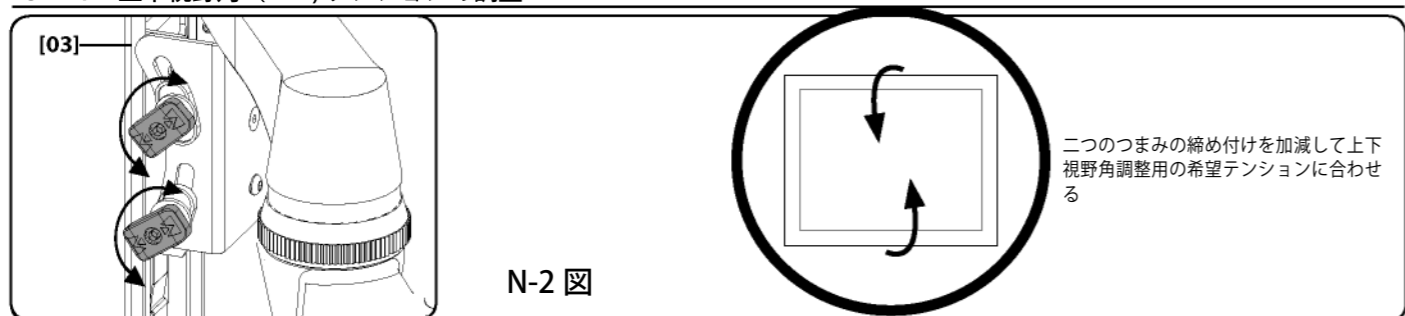
必要があれば、ケーブルタイ [30] を使って、ケーブル類を整理して下さい

ケーブルカバー (C) を取り付けます

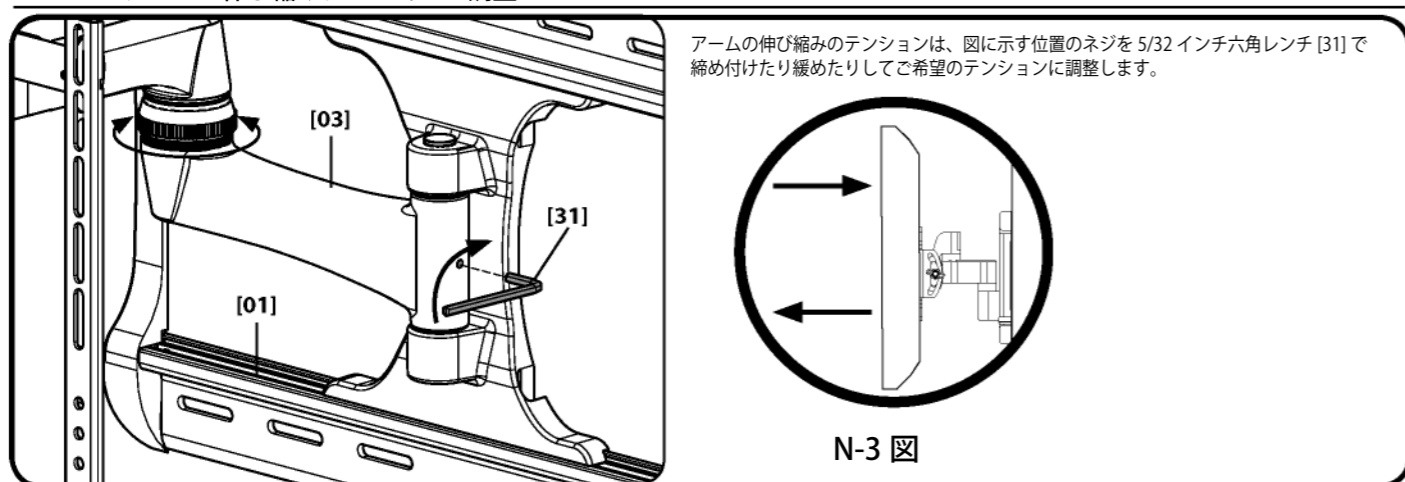
5-3 左右首振りテンションの調整



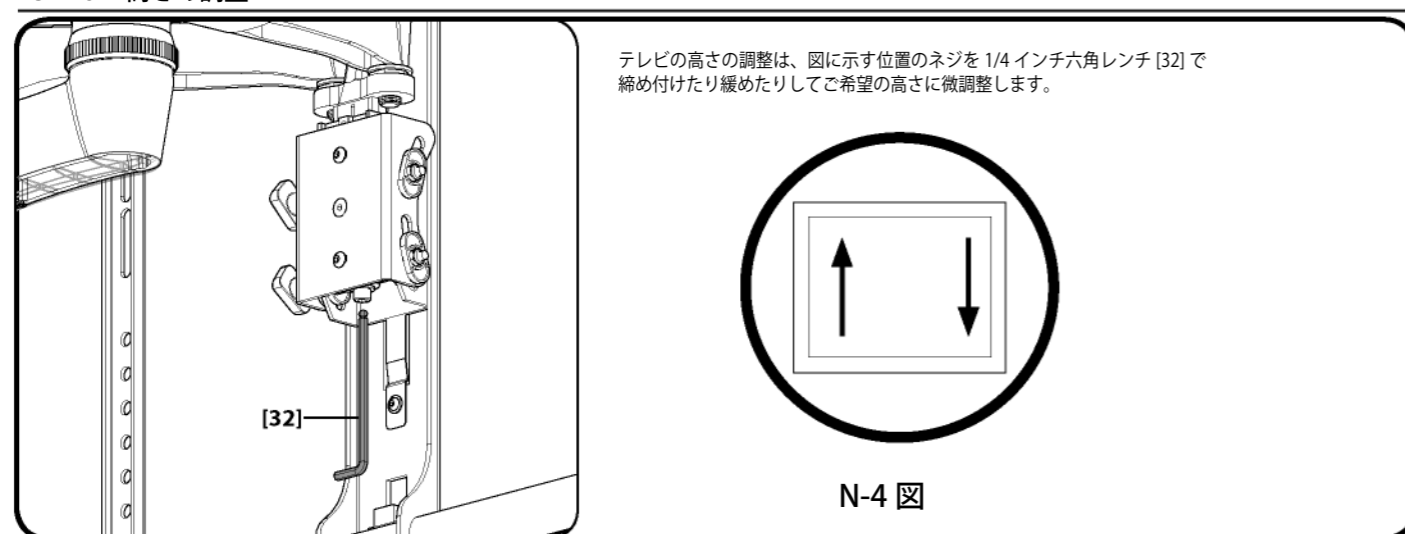
5-4 上下視野角 (TILT) テンションの調整



5-5 アームの伸び縮みテンションの調整

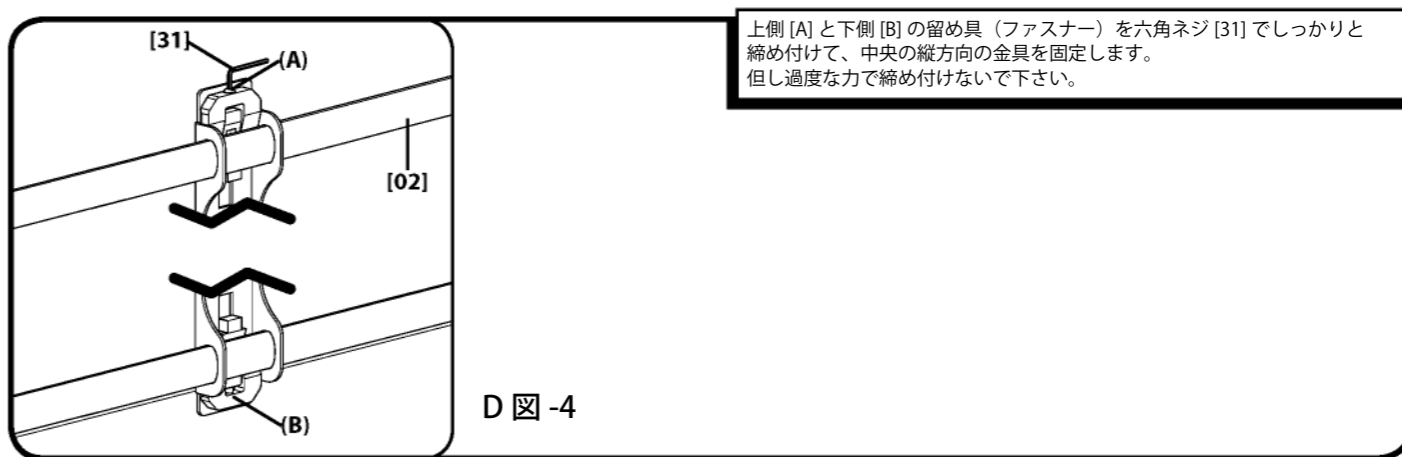
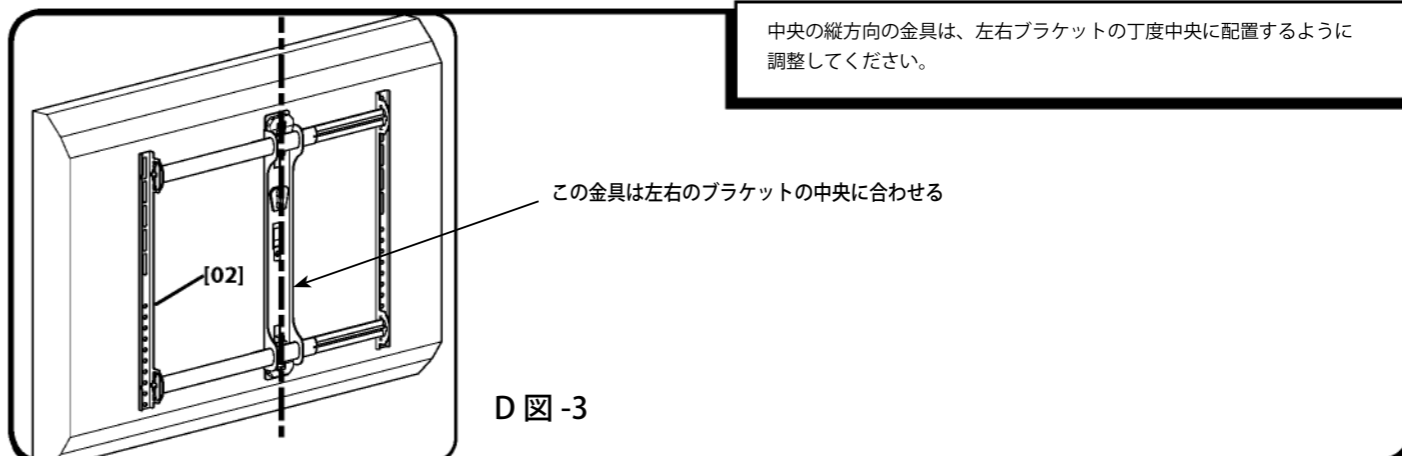
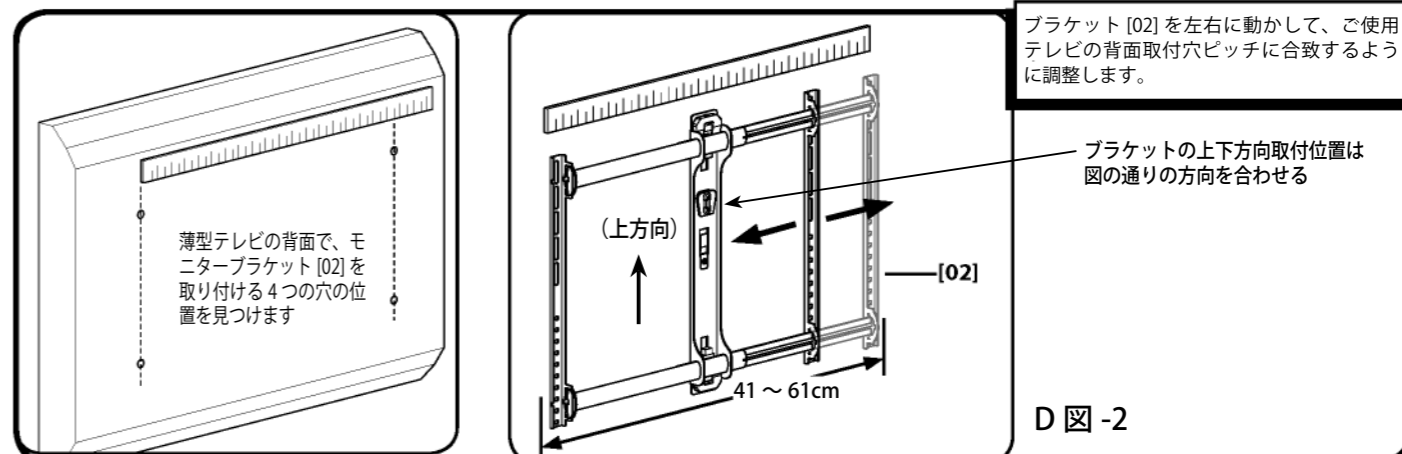
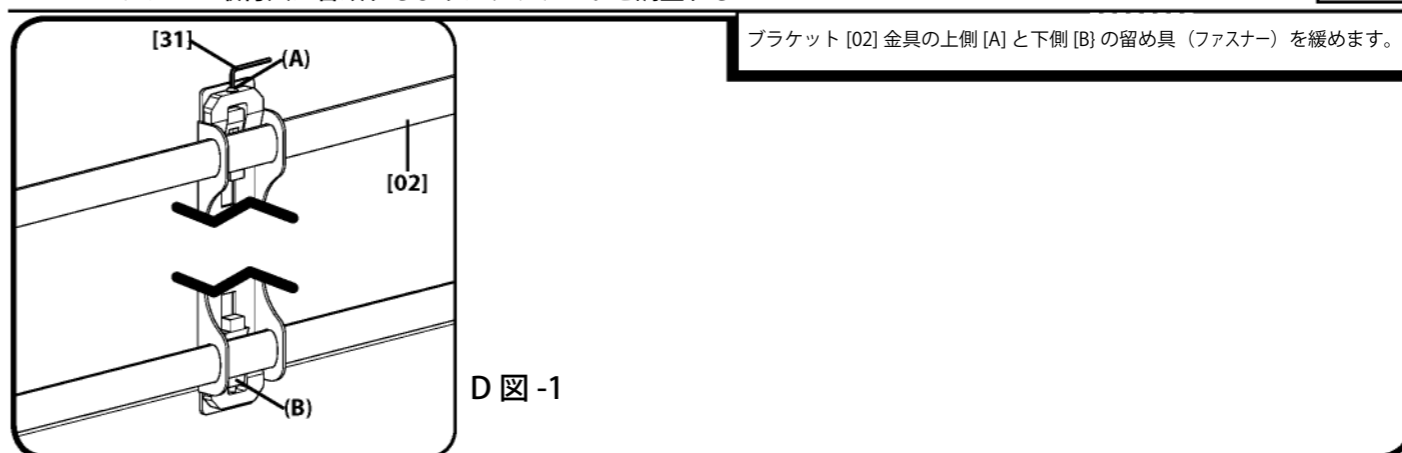


5-6 高さの調整

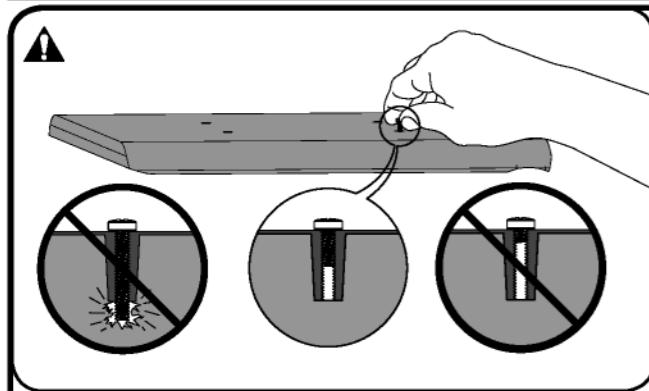


1. テレビにブラケットを取付ける準備作業

1-1 テレビの取付穴に合致するようにブラケットを調整する



1-2 テレビの取付に必要なネジの口径と、長さを選択する



E 図

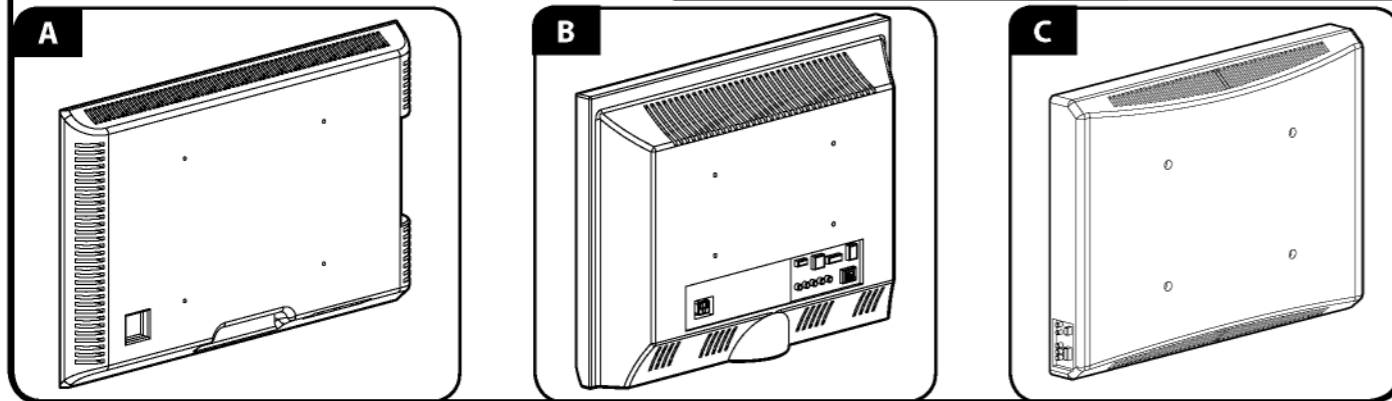
お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が決まります。下記のA,B,Cの図を参照して、7ページに記載の推奨される部品設定の中から、お使いのテレビのタイプに一致するものを選択してください。

- A. 4mm又は7mm スペースを使用する取付 (背面が平らなテレビ向け)
- B. 14mmのスペースを使用する取付 (背面が平らではないテレビ向け)
- C. 24mm又は38mmのスペースを使用する取り付け (14mmのスペースよりも背後に更にスペースが必要な背面が平らでないテレビ向け)

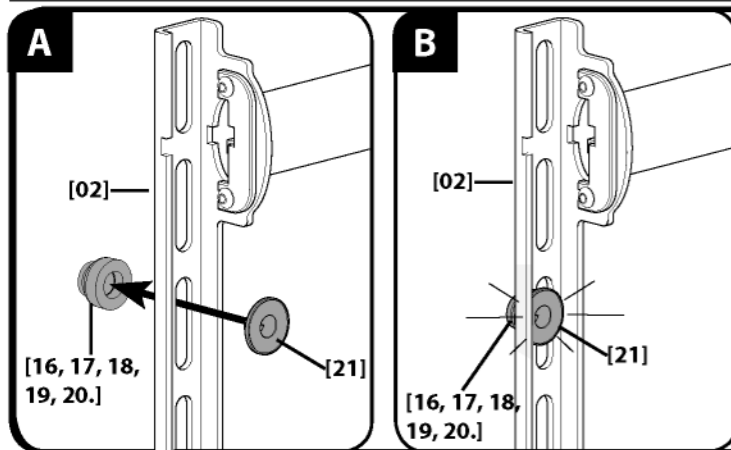
テレビの背面のネジ穴に手でねじ込んで、正しいネジの直径 (M4、M5、M6、又はM8) を判断します。

**⚠ 注意:** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

テレビをブラケットに固定するネジの長さが十分かどうかを確認します。ねじ込んでいる時にもし抵抗があった場合、直ちにねじ込みを中止し、必要に応じて、最も短いネジとスペーサーを組み合わせて使用します。使用するネジが長すぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがあります。適切なネジの見つからない場合は、ネットワークジャパン (株) に問い合わせして下さい。



1-3 ブラケットにスペーサーを取り付ける



ショルダーワッシャー [21] とスペーサーをブラケット [02] に取り付けます。

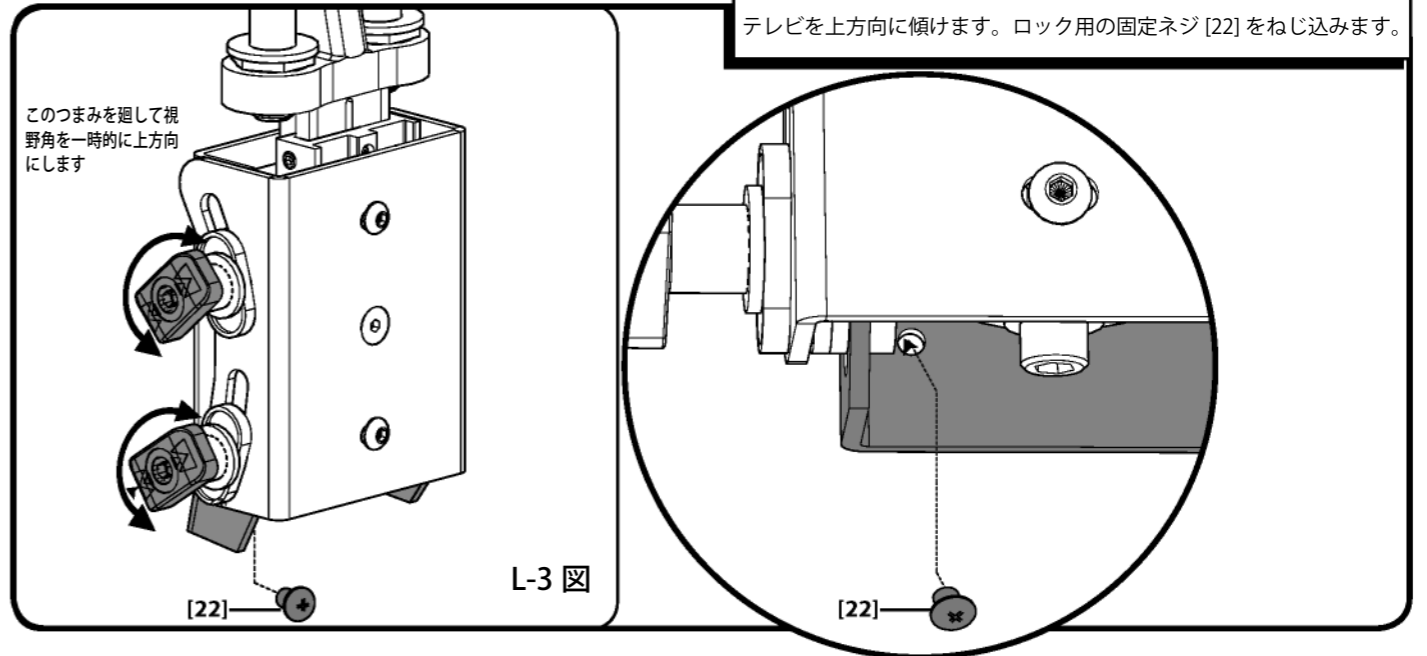
1. ブラケット [02] の適切な開口部にショルダーワッシャー [21] を通します。
2. 手順 1-2 で選択したスペーサーにショルダーワッシャー [21] を取り付けます。

お使いのテレビの背面が平らな場合、4mm または 7mm のスペーサー [16] 又は [17] を使用します。

お使いのテレビの背面が湾曲していたり、障害物がある場合、またはケーブル、窪み、突起に対してスペースが必要な場合は、14mm または 24mm 又は 38mm のスペーサー [18]、[19] 又は [20] のいずれかを使用します。

F 図

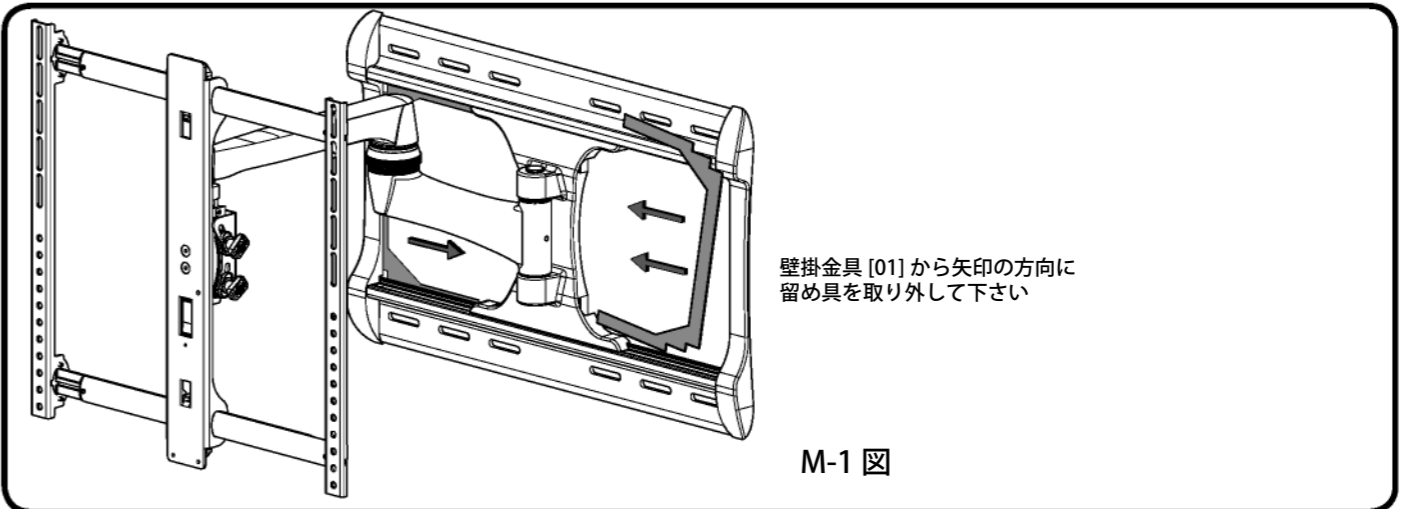
4-3 アームを固定する



L-3 図

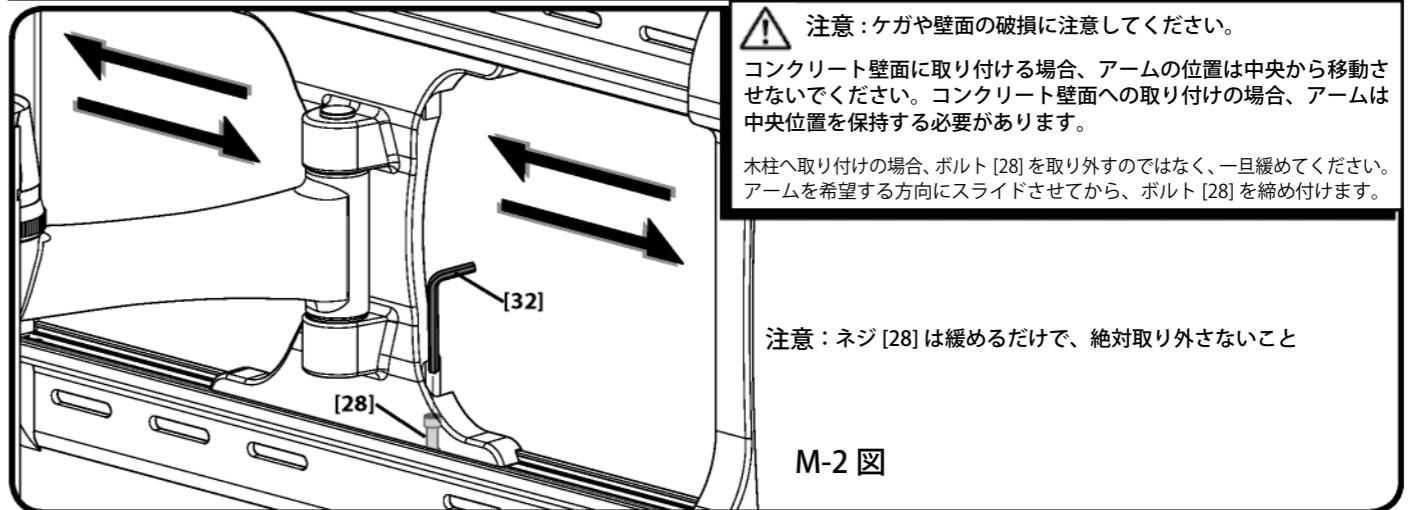
5 アームアセンブリーの各部調整

5-1 壁掛金具の留め具を取り外す



M-1 図

5-2 アーム取り付け位置の調整 (木柱への取り付け時のみ有効)



**⚠ 注意:** ケガや壁面の破損に注意してください。コンクリート壁面に取り付ける場合、アームの位置は中央から移動させないでください。コンクリート壁面への取り付けの場合、アームは中央位置を保持する必要があります。

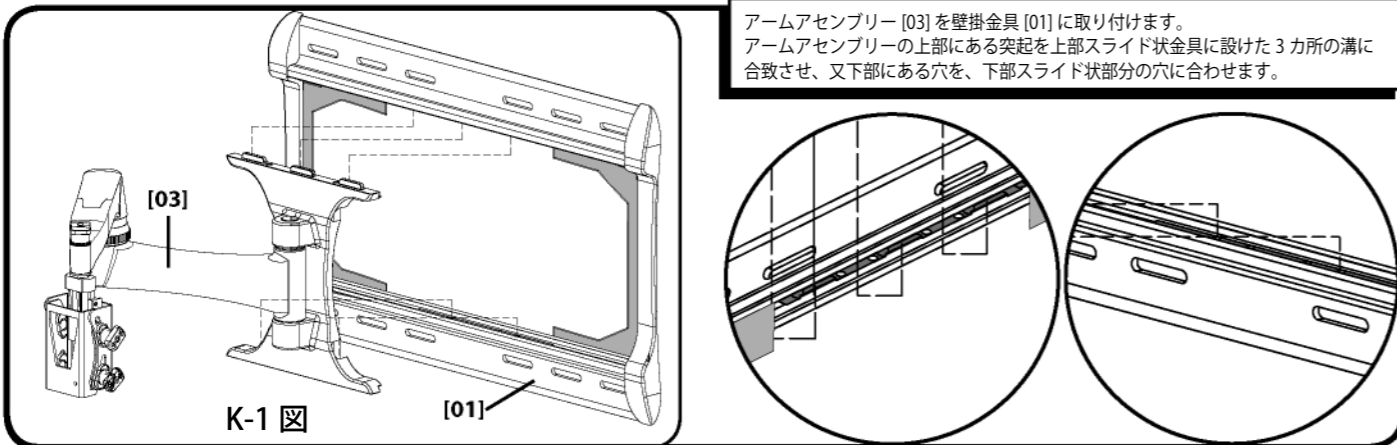
木柱へ取り付けの場合、ボルト [28] を取り外すのではなく、一旦緩めてください。アームを希望する方向にスライドさせてから、ボルト [28] を締め付けます。

注意: ネジ [28] は緩めるだけで、絶対取り外さないこと

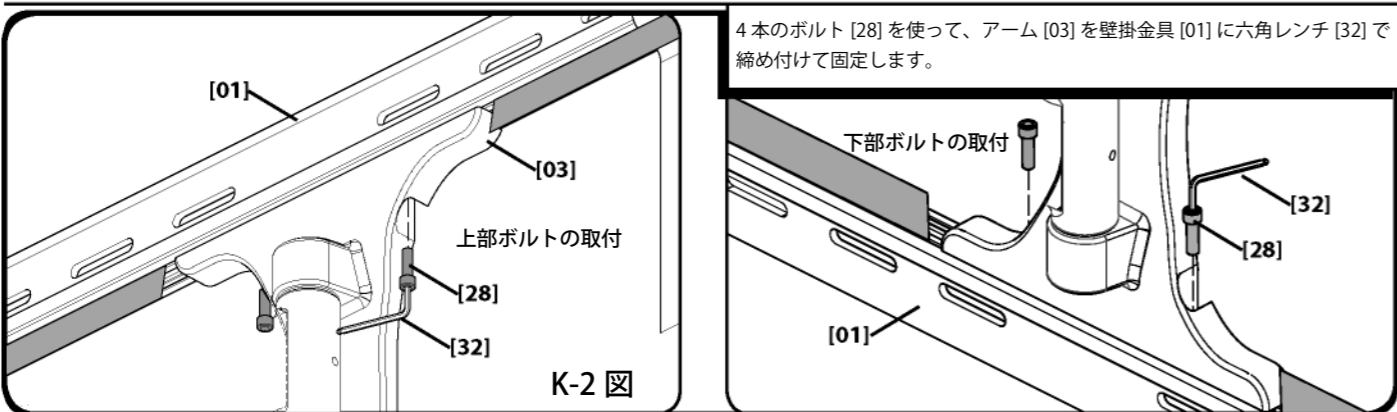
M-2 図

### 3 アームアセンブリーを壁掛け金具に取り付ける

#### 3-1 穴位置を揃える

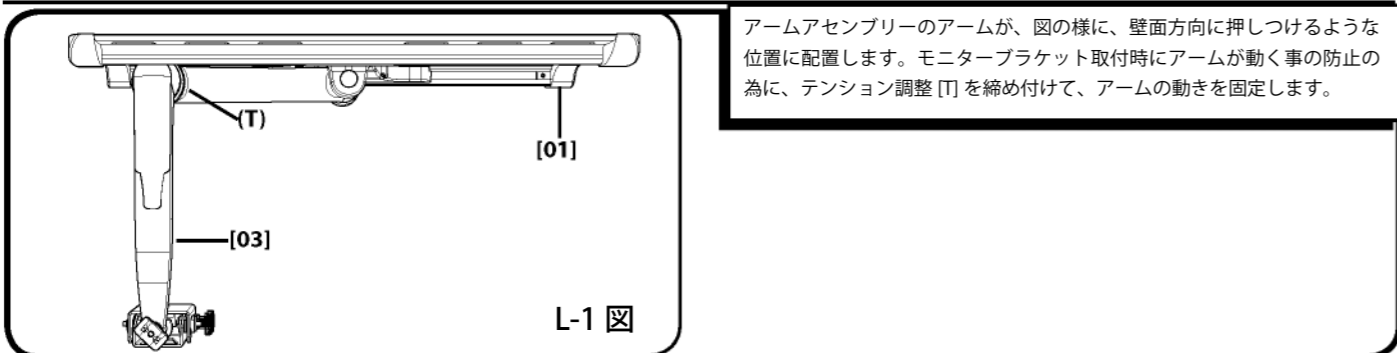


#### 3-2 アームを固定する

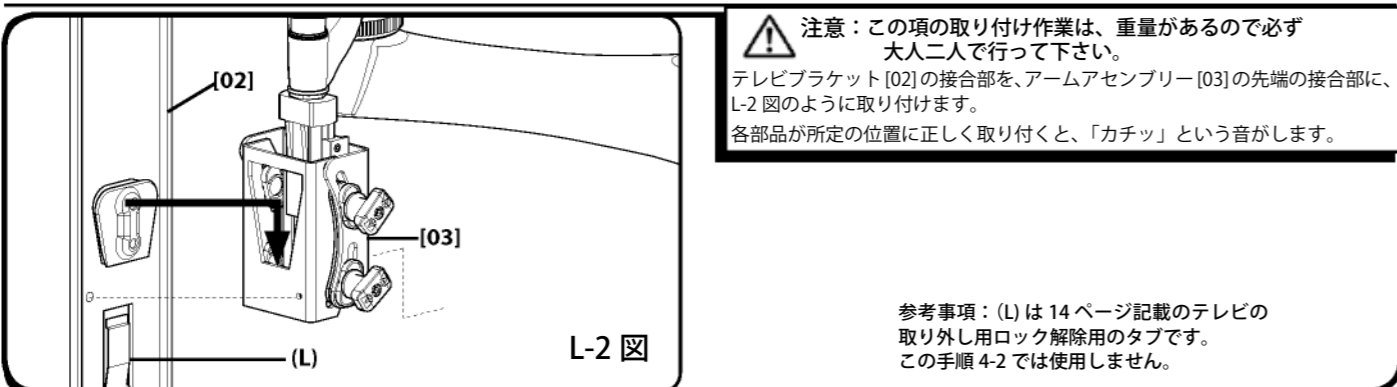


### 4 薄型テレビをアームアセンブリーに取り付ける

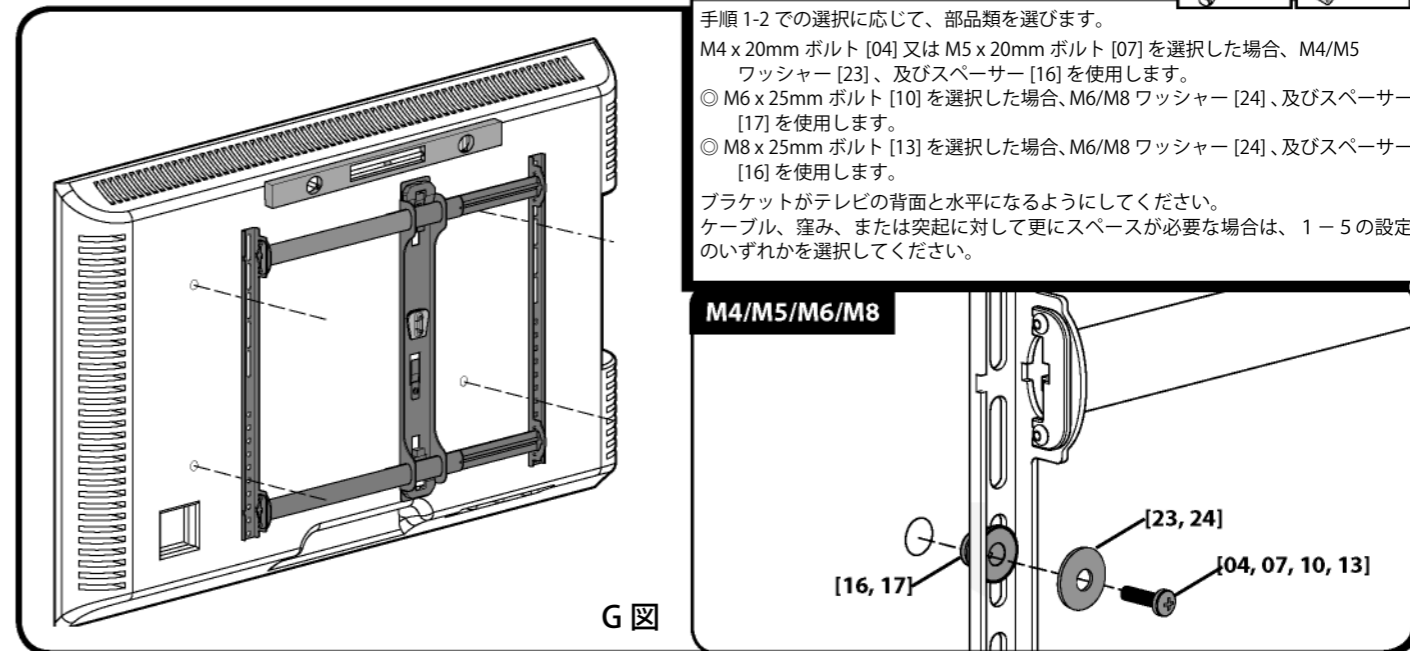
#### 4-1 アームの位置設定



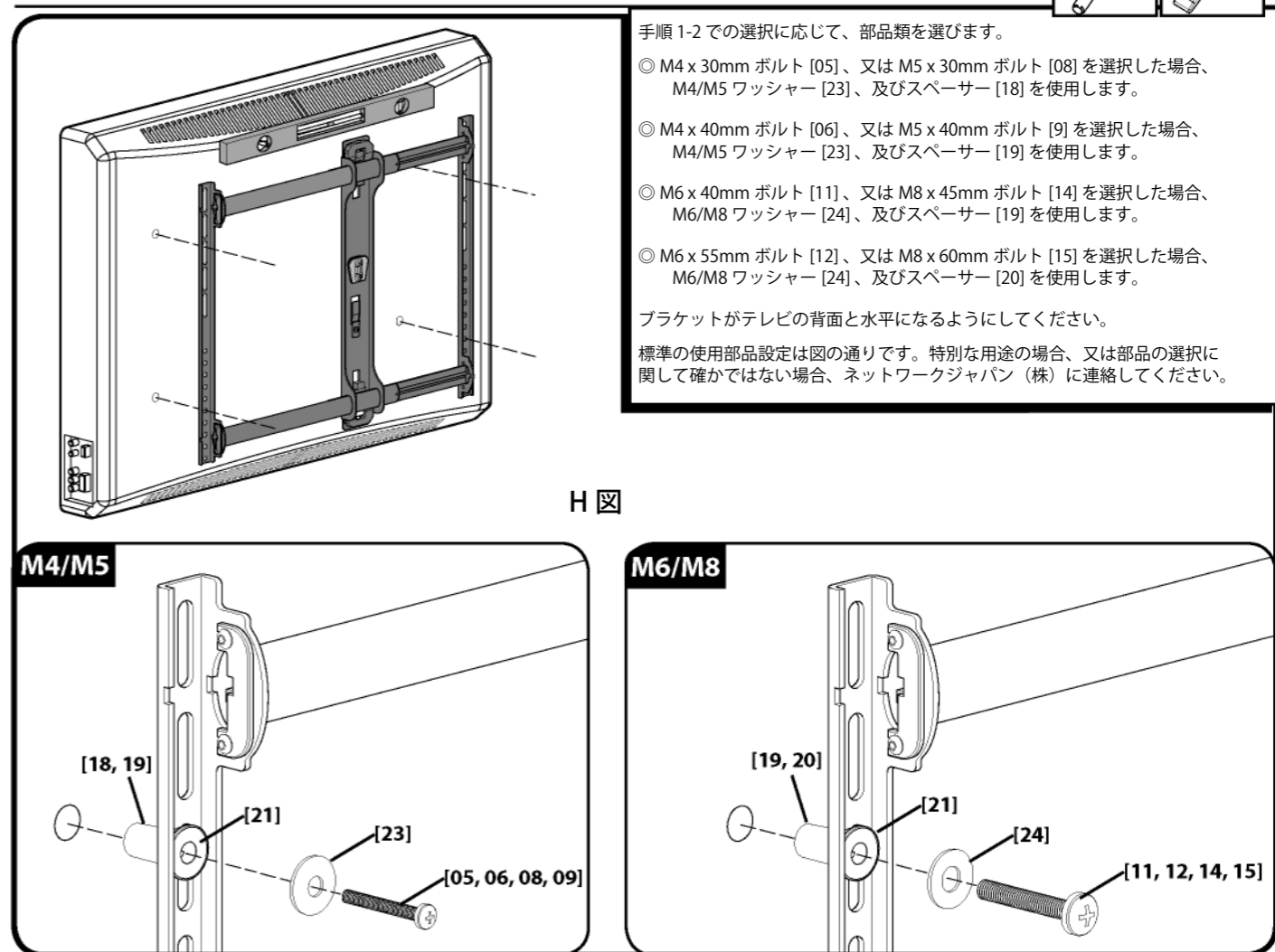
#### 4-2 テレビをアームに取り付ける



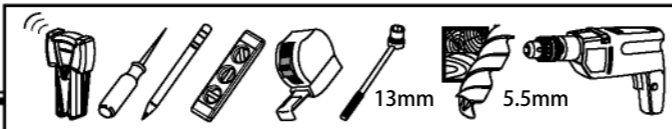
### 1-4 背面が平らなテレビにブラケットを取り付ける



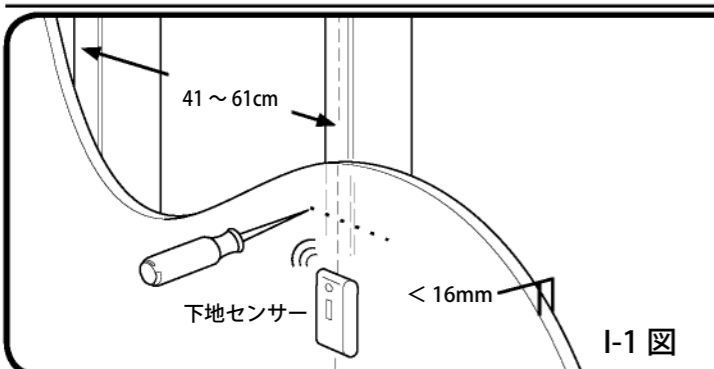
### 1-5 背面が平らでないテレビにブラケットを取り付ける



## 2. 壁掛金具を取り付ける --- 木柱の場合



### 2-1 木柱の位置を探す



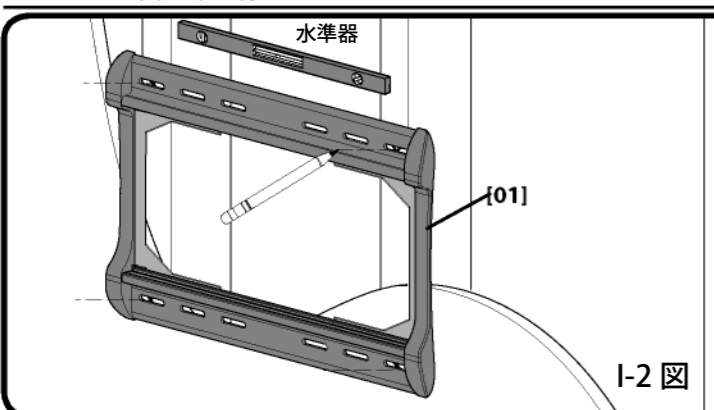
千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って、木柱の中央位置を確認します。

**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

- ★ 壁面の表面を覆う材料は、16 mm を超えないようにします。
- ★ 最小の木柱の寸法：通常 51 x 102 mm (小型 38 x 89 mm)

I-1 図

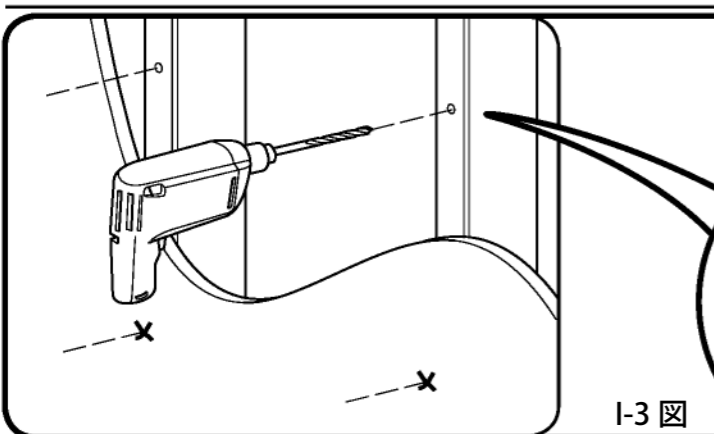
### 2-2 壁面に印を付ける



壁掛け金具 [01] を水平に置いて、木柱の中心に、取付穴位置に 4 個の印を付けます。

I-2 図

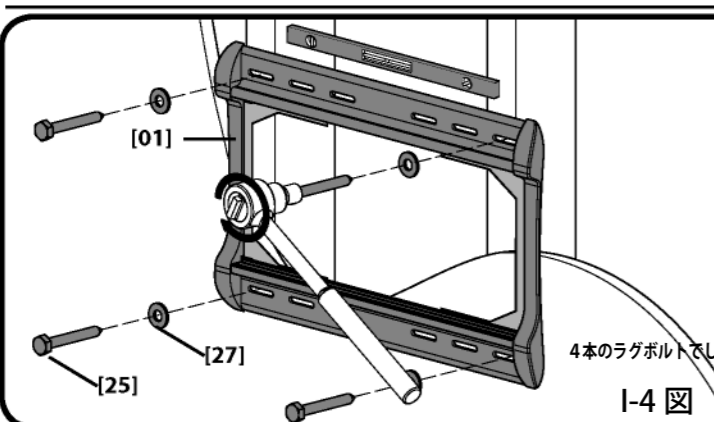
### 2-3 下穴を開ける



**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
下穴は、5.5mm 径のドリルを使って、89 mm の深さの穴を 4 個開けます。

I-3 図

### 2-4 ラグボルトをねじ込む



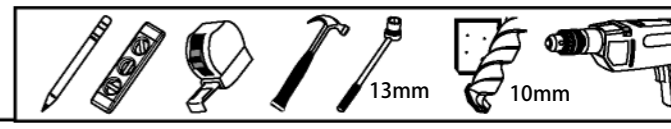
**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
不適切なラグボルトの取付は、保持力を弱め、薄型テレビをしっかりと支えることができません。

- ★ ワッシャー [27] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [25] を締めます。
- ★ ラグボルト [25] を締めすぎないようにします。

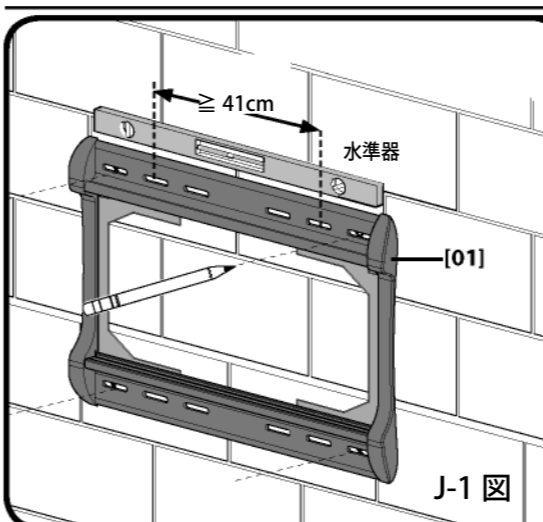
4本のラグボルトでしっかりと取り付けると

I-4 図

## 2. 壁掛金具を取り付ける ----- コンクリート又はコンクリートブロックの場合



### 2-1 壁面に印を付ける



壁掛金具 [01] を水平に壁面に置いて、4ヶ所の取付穴位置に印を付けます。

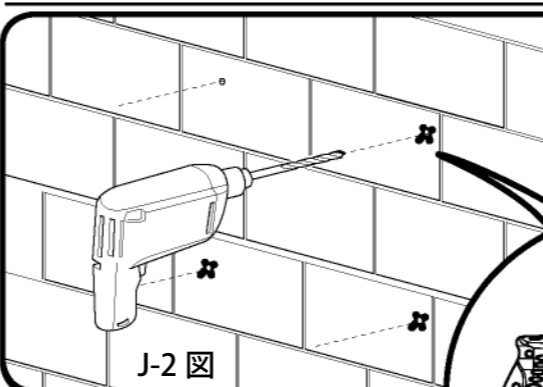
**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

- ★ 壁掛金具 [01] は、コンクリート壁面に直接取り付けます。
- ★ コンクリートの最小厚さ：203mm
- ★ コンクリートブロックの最小サイズ：203 x 203 x 406 mm

◎コンクリート壁面に取付ける場合、壁面取付金具 [01] のアームは、中央に固定する必要があります (9 ページ手順 3 参照)。  
壁面取付金具 [01] の位置を決める際に、この点に留意して下さい。  
◎壁面への最小留め位置の間隔は、J-1 図のように 41cm とします。

J-1 図

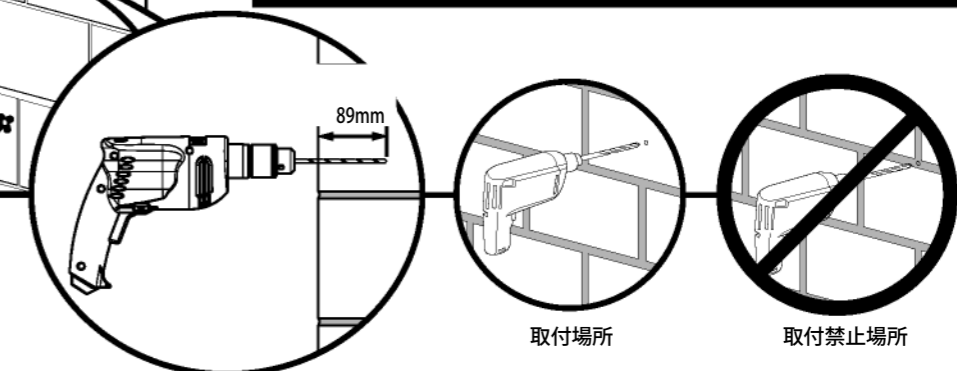
### 2-2 下穴を開ける



**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

- ★ 下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、深さ 89 mm の穴を開けます。
- ★ ブロック間のモルタル部には、ドリルで穴を開けないようにしてください。

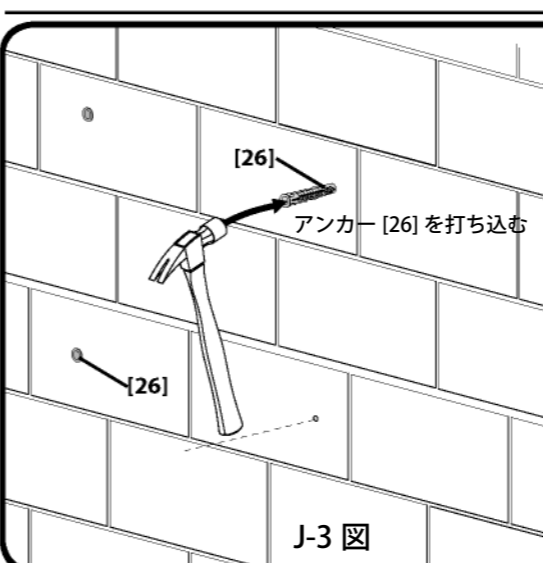
J-2 図



取付場所

取付禁止場所

### 2-3 アンカーを挿入し、ラグボルトをねじ込み、壁掛け金具を固定する



ラグボルトアンカー [26] を 4 個挿入します。次にラグボルト [25] にワッシャー [27] を挿入し、壁掛け金具 [01] の穴に通してから、アンカー [26] に 4ヶ所ねじ込みます。

**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
不適切なラグボルトの取付は、薄型テレビをしっかりと支えられません。  
ケガをしたり、壁面を破損しないようにするには、次の点に注意します。

- ★ アンカー [26] がコンクリート壁面に揃って取り付けられている事を確認します。
- ★ ワッシャー [27] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [25] を締めます。
- ★ ラグボルト [25] を締めすぎないようにします。

4本のラグボルトでしっかり留めること

J-3 図